

理科(生物) 岐阜大学 教育学部、応用生物科学部、
医学部 (医学科) (前期) 1 / 1

<全体分析>

試験時間 教育学部・応用生物科学部 120分, 医学部 2科目で120分

解答形式

記述・論述形式 (教育学部・応用生物科学部①～⑤, 医学部(医学科)①～③)

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

大問数は、教育学部・応用生物科学部で5題、医学部で3題と昨年と同じであった。各大問に字数制限付きの論述があり、論述字数は、教育学部・応用生物科学部が740字(昨年550字)で増加したが、医学部は280字(昨年260字)で変化はなかった。

その他トピックス

⑤ 新型コロナウイルスやその治療薬に関する問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 論述 選択	遺伝子・免疫	生物	遺伝子の変異と抗体の多様性に関する知識問題と考察問題である。相補的 DNA を鋳型にした PCR 法を用いた遺伝子診断が出題された。	標準
2	記述 論述 選択	神経・行動	生物	中枢神経系に関する知識問題とゼブラフィッシュの行動に関する考察問題である。仮説を証明するために必要な追加実験が問われた。	標準
3	記述 論述 選択	植物の環境 応答・遺伝	生物	様々な植物ホルモンの作用に関する知識問題と考察問題である。問5は Wm が優性であることやエチレン応答の経路を考える必要があり、難しい。	やや難
4	記述 論述 選択	生態と環境	生物	環境省の「生物多様性国家戦略 2012-2020」を題材にした、種の絶滅や生物多様性に関する知識問題と考察問題である。	標準
5	記述 論述 選択	遺伝子・免疫	生物基 礎・生 物	新型コロナウイルスのゲノム RNA の変異、および mRNA ワクチンに関する知識問題と考察問題である。治療薬として使われたレムデシビル作用機序を考察する問題が出題された。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

多くが標準的な知識問題と考察問題から構成されているが、詳細な知識も出題されるので、教科書の各分野を偏りなく学習しておきたい。知識だけでなく、実験結果や図表のデータを使った考察問題も必ず出題され、字数制限の付いた論述も多いので、短時間で的確な論述が書けるように十分な対策が必要である。また、計算問題が出題されることもあるので、頻出の計算は問題集などを利用して対処できるようにしておこう。